

令和 8 年

第 8 回 本 巢 市 教 育 委 員 会 会 議 録

【会議要旨】

本巢市教育委員会

会議の場所 本巢市学校給食センター 2階 会議室
会 議 令和 8 年 7 月 3 1 日 金曜日 正午
出 席 者 教 育 長 川治 秀輝
教育委員 小澤 明年
教育委員 黒田 隆吉
教育委員 松浦 尚美
教育委員 藤木 節子

本委員会に職員として出席した者の職氏名

教育委員会事務局	高木 孝人	事務局長兼教育総務課長
	薄田 茂樹	参事兼学校教育課長
	脇田 純一	参事兼幼児教育課長
	長屋 和宏	参事兼社会教育課長
	登尾 裕美	幼児教育課主幹
	茶縁 愛香	学校教育課総括課長補佐
	高田 茂和	教育総務課課長補佐 兼教育総務係長

議 題

議第 2 5 号 令和 9 年度使用小・中学校用教科用図書の採択について

川治教育長 : 議第 2 5 号「令和 9 年度使用小・中学校用教科用図書岐阜地区採択について」を議題とし、事務局に説明を求めた。

薄田課長 : 令和 9 年度使用小・中学校用教科用図書については、令和 8 年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の選定結果と同一の教科用図書を採択することについて、教育委員会の議決を求める旨を告げ資料に基づき説明した。

黒田委員 : デジタル教科書について、今どこまで進んでいるのか。

薄田課長 : 来年、再来年の教科書については、デジタル教科書を子どもたちの教科書とはせず、多くの自治体も本市も、紙とデジタルの教科書を併用する「ハイブリッド」での使用を想定している。
「ハイブリッド」と「デジタル教科書のみ」では概念が異なり、デジタル教科書のみを用いる場合は、子どもたちの端末にすべて

のデータを入れ、それを見て学習する。

一方、ハイブリッドは、紙の教科書を基本とし、紙面にあるQRコードをタブレットで撮影して、デジタルでのみ閲覧可能な動画や資料を見るという使い方である。両方の教科書が配布されるわけではない。紙だけを選択した場合はQRコードは付属しない。

川治教育長 : 事前の雰囲気としては、ほぼすべての自治体がハイブリッドを選択しており、紙のみの選択をする自治体はほとんどない。デジタル教科書のみを選択する自治体もあるかもしれない。

黒田委員 : 家庭に持ち帰っているタブレットについて、重たいという保護者の不満の声を聞いた。その保護者は、デジタル教科書になるとさらに重くなるのではないかと懸念していた。

川治教育長 : これまではWindows端末、昨年度からiPadを導入している。Windowsはさらに重かったが、iPadに変更したことで軽くなった。

薄田課長 : 家庭での学習や、災害時等のオンライン接続、家での充電を依頼しているといった都合上、学校に保管庫はなく、基本的には自宅へ持ち帰る運用としている。

松浦委員 : デジタル教科書のみにする場合は、データをすべてiPadの中に入れるのか。

薄田課長 : そうなるか、あるいはオンラインでWebに接続して大元のデータにアクセスするかのどちらかになる。デジタル教科書のみになれば、紙の教科書がなくなるため、普段持ち帰るものはタブレットだけになり、軽くなる。

藤木委員 : 使用上で不具合はないのか。

薄田課長 : iPadに変更してからはサクサクと動き、先生方からも特に不満の声は上がっていない。Windowsの時は端末が固まったり、立ち上がりに時間がかかったりして苦戦したが、iPad移行後は遅いという不満はない。ただし、校内LANの接続状況に若干改善の余地が残っており、現在徐々に整備を進めている。

川治教育長 : AIドリルなどの導入により、個々の習熟度に応じた学習や自動採点が可能となり、時短が図りやすくなる。一方で、1日中端末ばかりを使用して鉛筆を持たなくなるのではないかという心配もある。本巣市としては、デジタルと融合させつつ、基礎基本としての「書くこと」を重視した教育をすべての学校で実施していく。

藤木委員 : 今の子どもたちは、じっと端末を見ることでどうしても首が前に出る姿勢になっている。

黒田委員 : 新聞記事で、教育先進国として知られるフィンランドについての記事を読んだ。それによると、フィンランドはICTが非常に発達している反面、子どもの思考力や問題解決能力が低下し、OECDの学

力調査も下落傾向にあるという内容であった。日本も同様の傾向になる懸念があるため、本巢市に限らず、現場で指導を任される者がそうした点を意識して指導を行っていく必要がある。

川治教育長 : ほかに質問等がないことを確認し、原案のとおり承認するかを諮った。

川治教育長 : 異議がなかったため原案のとおり可決した。

閉会 午後0時40分